

社会委員会通信

41

2011.7.3

発行：横浜港南台教会 社会委員会

〒234-0054

横浜市港南区港南台 7-8-29

Tel : 045-833-5323 Fax : 045-833-6616

2011年度の第1回社会委員会学習会を6月5日(日)、主日礼拝後に開催いたしました。テーマは「生活の中の防災」です。

今、私たちの国は、3月11日の大地震、大津波と原発事故で苦難の中にあいながらも、人々の復興への努力があちこちで始まっています。その中で、原発事故は、想定されていた被害が次々と現実となって起こり、いまだに収束の見通しもなく、人々を苦しめています。この原発災害は私たち人間の作り出した災害であり、私たちに責任がありますが、地球の大きな動きに伴う地震と津波は、人間の都合に関係なく、ある日突然どこかに起こるものです。私たちに豊かな恵みをもたらしてくれる大自然が、時として私たちに与える大きな被害、その被害がなるべく小さく済むように準備し、生き延びることができるような知恵を持ちたいと思います。

今回、私たちは、日常の防災知識や準備が地震と津波の被災者の生死を分けたことを数多く見聞きし、防災のための学習会を企画しました。学習会の講師を快くお引き受けくださり、十分に準備して発題して下さった M.S さんとアシスタントを務めて下さった H.O さんのご奉仕に心から感謝いたします。また参加して下さった皆様から頂いた貴重なご意見やお知恵も、今後の防災に役立てていただけたら幸いです。今普通に暮らしている幸いを感謝し、震災に遭われた方々の労苦を思い、共に生きるための知恵と力を祈り求め続けたいと思います。

参加者は 38 名(男性 4 名、女性 34 名)でした。参加者の皆様、ありがとうございました。

(社会委員長：Y.O)



生活の中の防災

M.S

1. 失われたるもの加えられたるもの

今日は生活の中の防災についてお話いたしますが、私は専門家ではありません。私たち「友の会」では、9月の防災の月には避難訓練をしたり、非常持ち出しの品物について勉強会をいたします。そのグループで私、それから O さんが一緒に勉強しております。今回、防災の話の依頼を受けまして、じゃあ二

人で組んでやりましょう、ということになりました。私たちが日頃実行していることをお話しさせていただきます。それが皆様の備えの機会になればと思っています。私たちが話すだけではなく、皆様からもご意見を伺えれば、備えの良い機会になると思いますので、よろしく願いいたします。

始めに、O さんに羽仁もと子著作集から「失

われたるもの加えられたるもの」を読んでいただいて、感想をお話していただきます。

これは大正 12 年（1923 年）9 月 1 日の関東大震災のことを、同じ月に羽仁もと子が書いたもので、その中の一部を読ませていただきます。

『なんぢら己がために財宝を地に積むな、こゝは虫と錆とが損い、盗人うがちて盗むなり』（マタイ伝 6 の 19）

自分のこと、自分のもの、そうしたことにばかり強く執着していた私たちの低い心持は、今高くされました。この世の中の物資は、すべての人に共同の物として与えられていることも、はっきりと分かりました。許しあえばすべての人がみな助けあい得ることも、身にしみて知ることが出来ました。虫と錆とに損われ得べきかぎりのものは、今私たちに何もなくなってしまいました。方船を出た私たちに新生活の理想が輝いています。

形のある財宝は奪り去られて、無形の賜物が加えられたのです。私たちは果たしてこの土台の上に、これからさきの建築を間違いなくしてゆくことが出来るか、目覚めされた新生活の芽生えを、空の鳥のとまるような大きなものに育て上げてゆくことが出来るか。非常な責任と忍耐と、聡明なる注意と、強い克己力とを働かせてゆかなくてはならないと思います。

このような民衆の力を基礎にして發揮してゆく国家は、最も健全な国家であり、このようにして発達してゆく社会は、また実に愛深い社会であります。めいめいに一身一家の安全ばかりを念として、自分の持物をふやそうふやそう

とする生活は、冷たい利己的な社会をつくるのです。そうして自分がまず先にその中に住むのです。それほど不安な生活はありません。前のようにして、常にわれわれは無一物であっても、愛深い社会がそれによって築かれてゆくならば、われわれの生活は日増しに安全になってゆきます。

失われたるものと、加えられたるものと、失われたるものの中にある十万の同胞の生命を思えば、加えられたる賜物は、その血を償ってあまりあらしむべく与えられたものでなくてはならないことを、一層深く感じます。成長すべきよきものはすでに与えられています。祈りに祈って、与えられたよきものを十分に成長させなくてはならない、その責任は、かかってわれわれの上にあることを感じます。

（大正 12 年 9 月）

羽仁もと子著作集『思想しつつ生活しつつ下』より

マタイ伝 6 章 19 節の「盗人うがちて盗むなり」（文語訳）に続く 20、21 節は、新共同訳では「富は、天に積みなさい。そこでは、虫が食うことも、さび付くこともなく、また、盗人が忍び込むことも盗み出すこともない。あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ」とあります。約 90 年前に私たちは関東大震災を、また 15 年前には阪神・淡路大震災を経験しました。でも、私たちは、わずか 15 年ほどの間にも、だんだんとその天からの戒めから薄れ、つい 3 ヶ月前の暮らしを享受していたのではないかと反省させられます。約 90 年前に書かれたこの文章を読んで、時代が変わっても真理は変わらないこ

とを改めて分らせていただきました。今、宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」が方々で読まれています。「あなたの富のあるところに、あなたの心もあるのだ」。このことをしっかりと腹に据えて、辛い中にある人々に祈りと共に寄り添い、愛深く歩みたいと思います。

2. 地震が起きた時、とる行動

3月11日午後2時46分に宮城県沖を震源とするマグニチュード9.0の大地震が起きましたが、皆様はどのような行動をとられましたでしょうか？ その時どういう行動をとったか、振り返っていただきたいと思います。私のところは幸いにも夫と娘がお休みだったものですから、同じ部屋に3人おりました。ぐらっと来て、あ、これはちょっと違うな、いつもの地震ではないなと感じて、私はパッと玄関のドアを開けて外へ出ました。そして外から「あぶないから出なさい、出なさい」と夫と娘に叫びました。それが良いか悪いかは皆様に考えていただきたいと思いますが、その行動は大事なことだと思います。母は9歳の時に関東大震災に遭いました。母は、地震が来ると、玄関の戸を開けて逃げ道を作らなければいけないと言っていたものですから、私はそれを做ってやったわけです。母がそのように外に出た時、父は「お前だけ助かればいいのか」と、後で言い争いになったのも覚えています。母は自分だけ助かるうというのではなく、とにかく逃げ道を作ろうと思って戸を開けたわけです。どのようにするかは、その時置かれた状況によって違うと思います。まず自分の身の安全を守ることを考えて、

揺れの収まるのを待つ。物が落下するのを防ぐために、机の下などに避難するのがよいと言われています。外に出るといことも大切ですが、揺れが収まるまでは自分の身を守る態勢をとったほうがよいと思います。

3. 落ち着いて火元の確認

(消火器の使い方の確認)



その次に火の始末をすること。ガス台に火がついていれば、それを消す。火事が出た場合のことも想定して、消火器の使用方法を確認しておくことが大切です。私は、横浜の防災訓練場での勉強会に参加した時、このエアゾール式消火器が簡単だということを知りました。これは蓋を開けて押さえれば簡単に出来ます。一般の家庭にある消火器は、いざという時、使い方がよく分かりません。私はこれを一つ置いております。火災による犠牲者を減らすため、就寝に使用する部屋に火災報知器を設置することが、今年の6月1日から義務付けられました。



4. 部屋の中に物が散乱した場合

今回の地震では、食器等が落ちることもなく、外に出られたわけですが、中区の埋立て地は液状化で大変だったそうです。高層ビルに住んでいる私の友達は、物が落ちて来て大変で、それを片付けるのに何日もかかり、外に残骸を出したら、「引っ越すの?」と言われたそうです。その時は本当に怖く、足の踏み場がなかったそうで、私たちもそういう時にどうしたらよいか、考えておくことも大切だと思います。部屋の中に物が散乱し、家具類、

食器、ガラスの破片などで怪我をしないように、私は靴を枕元に置いています。



5. 窓や戸を開けて出口を確保

火の始末をしてから窓や戸を開けて、出口、逃げ道を確保してください。

6. 就寝時にもすぐ避難できるように備えておく

地震はいつ来るか分かりません。一番怖いのは、寝ている時に地震が起こることです。その時はどうしたらよいのでしょうか？自分がいつも身につけているもの（眼鏡や入れ歯等）懐中電灯、必要なものを自分の手元に準備しておくことが大切です。その他、自分の枕元近くに背の高い家具は置かないことです。また、家具は留金をつけるとかして、倒れないようにしておいていただきたいと思います。阪神・淡路大震災では、家具が転倒して600人の方が亡くなったそうです。台所の食器が外に出て来ないようにすること、ガラスが簡単に壊れないようにフィルムを貼るとよいと言われています。

7. 家族と非常の場合の行動と連絡方法を話し合う

最寄りの避難場所を知っておく。防災の手引き、防災マップ等を地域の防災課で収集。

これはとても大切なことです。家族が全部揃っているとは限りません。子どもが学校に行っていたり、夫が会社に行っていたりして、みんなバラバラの時、一番心配なのは家族の安否です。区が出している防災マップがあ

ります。震災に遭った時、どこに集まればよいか記されています。栄区は吉田団地など6箇所が拠点になっています。その次の拠点は小学校、中学校になっています。区役所からマップをもらって来て、自分のところに印をつけて確認しておくことが大切です。

我が家の一時避難場所、地域救援センター、広域避難場所を書き込む。毎日通う学校や勤務先の避難場所も確認。

家族の連絡手段

家族の安全確認の方法

我が家のSOSカードを作成



- ・氏名
 - ・住所
 - ・電話番号
 - ・ 年 月 日生 性別
 - ・血液 アレルギー
 - ・保護者などの緊急連絡先
 - ・学校 勤務先
 - ・その他
- <県外緊急連絡先や避難所など>

カバンなどに入れて持ち歩けるようにしておく、災害時だけでなく、事故や急な病気の時にも役立ちます。



これは防災手帳で、高島屋で買いました。この中に家族のことを書き、自分の体につけておきます。後ろは10円玉とか100円玉が入るようになっていて、いざという時に小銭が使えるようになっています。この手帳にかかりつけのお医者さんを記載しておけば、病

気になった時にも役立つと思います。

災害用伝言ダイヤル(171)

レジュメの裏に災害用伝言板の使い方を載せておきました。いざという時、すぐに使えるように、事前に練習しておくことが大切です。下記の日時に体験出来ます。

毎月1日・15日の0:00~23:00

「防災週間」(8月30日~9月5日)

「防災とボランティア週間」(1月15日~1月21日)

1月1日12:00~1月3日23:00

これは携帯電話からのやり方で、ガイダンスに従ってやれば出来ます。

8. 非常持ち出し品の準備

必要なものは年齢や家族構成によって異なります。

高齢者のために是非必要なもの(250g)

めがね <予備または虫眼鏡>

入れ歯 <身近に置く>

健康保険証、診察券、老人医療費受給者証(コピー)

服用中の薬 <3日分>

緊急連絡先



体力に応じて2kg

懐中電灯、ラジオ、靴、軍手、靴下、帽子、タオル、ポリ袋、古新聞、雨具、水、非常用食品、飴など

お配りした「非常持ち出しリスト」をご覧ください(p.6)

懐中電灯・携帯電話手動充電器・サイレン付きの携帯ラジオは、とても便利です。

小さい懐中電灯はバッグの中に入ります。ラップは、お皿の上に敷くとか、多目的に使えますので、1本用意しておくことをお勧めします。

ポリ袋も多目的に使えます。トイレの代わりにもなります。

笛は首に付けるようにします。非常時には公衆電話が一番かかりやすいので、10円玉や100円玉を用意しておいてください。テレホンカードも。

私は身分証明書、健康保険証、運転免許証のコピーを袋に入れてあります。

預貯金のナンバーを手帳に書いておく。住所録(連絡先) 筆記用具を入れておく。

食料品は1日1人3リットルとか言いますが、私は5年もつ水(500ml)を1本防災リュックに入れてあります。

トイレトーパーは芯をとってしまえばかさばりません。

常備薬を忘れないようにしてください。

風呂敷は多目的に使えて便利です。

貴重品は、中が見える入れ物に入れておく。貴重品の中に小さな聖書を入れておくとよいと思います。

ポケットがたくさん付いているベストや保温性に富むサバイバル・ブランケットも備えておくと便利です。

家族構成によって用意するものは異なります。これだけで4kgになり、結構重いです。いざという時に、持ち出せるかどうかが問題です。一次持ち出しと二次持ち出しに分けてもよいと思います。

非常持ち出しリスト(案)

2011 横浜友の会住研グループ

<p>緊急用品</p>	<p>携帯ラジオ(携帯電話手動充電器付) 懐中電灯 ラップフィルム ポリ袋 乾電池 古新聞 笛 ローソク マッチ</p>	<p>衣類</p>	<p>軍手 帽子 下着 靴下 靴 風呂敷 タオル 頭巾</p>
<p>貴重品</p>	<p>現金(公衆電話用10円、小銭) テレホンカード 身分証明書 (健康保険、運転免許証コピー) 手帳(預貯金のNo) 住所録(連絡先) 防災手帳(顔写真、家族写真) 筆記用具(マジック、ボールペン)</p>	<p>各家庭に必要な物を加減する (乳幼児、学童、高齢者) 毎年防災の日に中身の確認 女性の持ちやすい重さ 3.5kg</p>	
<p>食料品</p>	<p>水(500ml ペットボトル1本) 乾パン 飴、チョコレート(甘いものが良い)</p>	<p>メモ:個人的に必要な物</p>	
<p>救急薬品</p>	<p>ウェットティッシュ ポケットティッシュ ばんそうこう マスク カイロ(使い捨て) トイレトペーパー ガーゼ、三角巾 常備薬 生理用品</p>		



社会委員会からのお知らせ

8月7日(日)に平和聖日学習会を開催します。講師は東海林 勤牧師です。テーマは後日お知らせいたします。多くの方々のご参加を期待しています。

社会委員会へのご意見や学習会で取り上げてほしいテーマがありましたら、社会委員にお知らせ下さい。